

## 東芝オープングリルレンジ設置工事説明書



アンダータイプ( 単相100V )

形名 BHO-U52D

## 安全上のご注意

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。  
表示と意味は次のようになっています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、人が <sup>1</sup> 傷害を負ったり、 <sup>2</sup> 物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。
- 2 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

設置工事完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

この「設置工事説明書」は、取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

 **警告**

設置工事はお買い上げの販売店または専門業者に依頼する  
ご自分で設置工事され、不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。


設置工事は、設置工事説明書に従い、確実に  
設置工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

設置工事は、機器の重量に十分耐える所に確実に  
耐重量不足や取り付けが不完全な場合、機器の落下や転倒により、けがの原因になります。

電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び設置工事説明書に従って施工し、必ず専用コンセントを  
使用すること。また、電圧は製品の定格電圧に合わせる  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

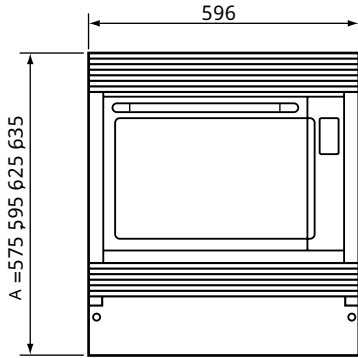
設置工事部品は、必ず付属部品または、指定の部品を使用する  
使用しないと、機器の落下や転倒、水漏れ、感電、火災の原因になります。

アースを必ず行うこと。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない  
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

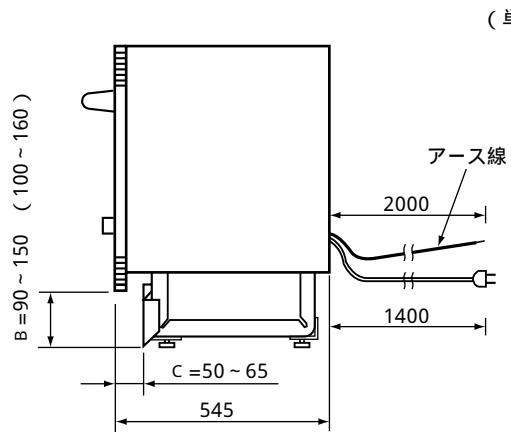
 **注意**

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わない  
万一ガスが漏れて機器の周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

# 1 製品外形寸法図



正面図



側面図

(単位: mm)

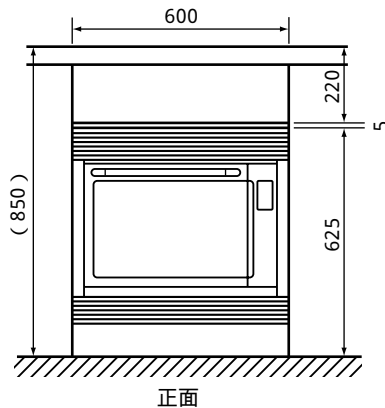
- (A) 本体高さは、575、595、625、635、の4段階に調節できます。
- (B) け込み高さは、90 ~ 150 (100 ~ 160)まで10mmピッチで7段階に調節できます。
- (C) け込み奥行きは、50 ~ 65まで無段階に調節できます。

印はシステムキッチン高さ  
860mmに対応。

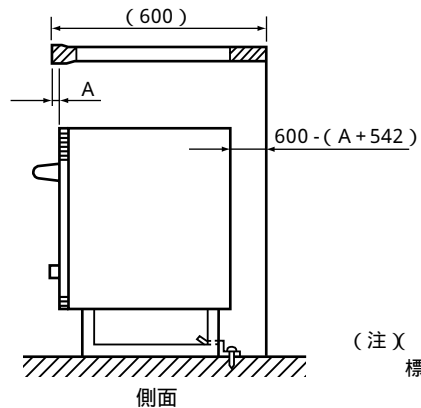
システムキッチン高さ	本体の高さ(A)寸法	(B)寸法	(C)寸法
800	575のとき	90, 100	50 ~ 65
820	595のとき	90 ~ 150	
850	625のとき	90 ~ 150	
860	635のとき	100 ~ 160	

# 2 システムキッチンとの関係寸法図

(東芝クッキングヒーターとの組み合わせ例)



正面



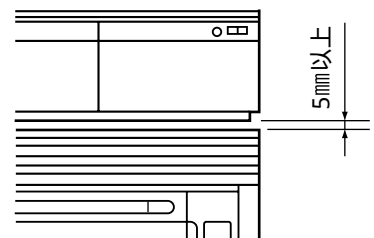
側面

(単位:mm)

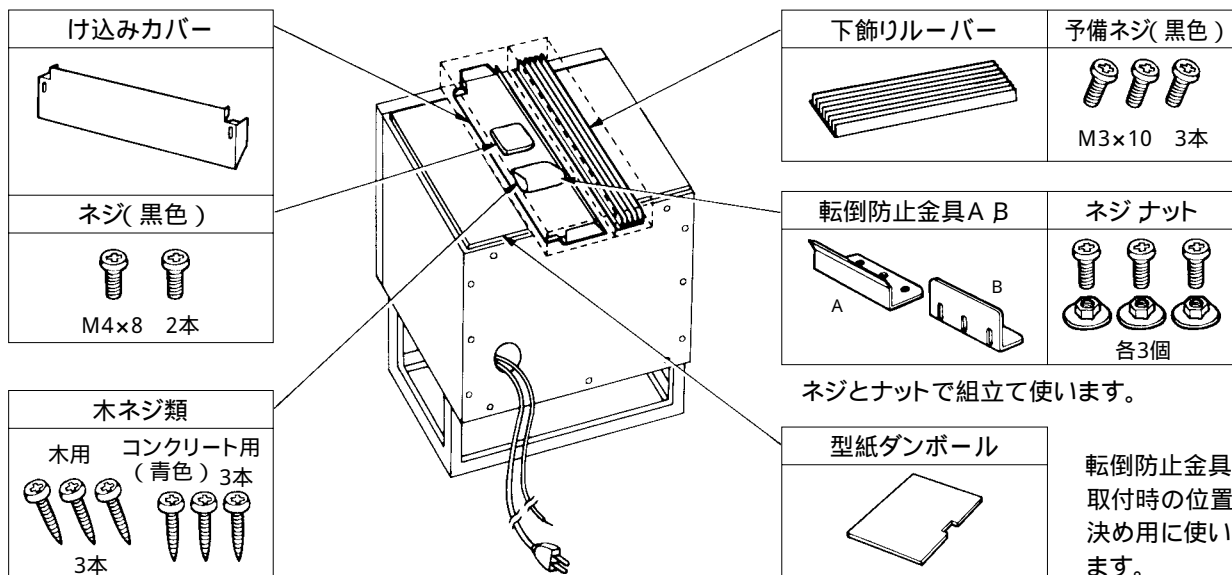
(注) 内寸法は標準寸法です

## 東芝クッキングヒーター ドロップインタイプ との組み合わせ上の注意

東芝クッキングヒーター ドロップインタイプ と組み合わせられる場合は、必ず本体上面の隙間を5mm以上設けられるよう、本体高さをアジャスター脚で調節してください。(右図参照)



### 3 設置用同梱物の確認



### 4 電気工事および接地工事

電気工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じてください。

電源は15A専用回路(ブレーカ-付)を設けてください。

万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をお願いいたします。

電源コンセント：埋込コンセント...单相 定格125V、15A、アース端子付

電源コンセント取付位置は、下図によって取り付けてください。

電源コードを切断し、直結することは、絶対にしないでください。(直付禁止)。

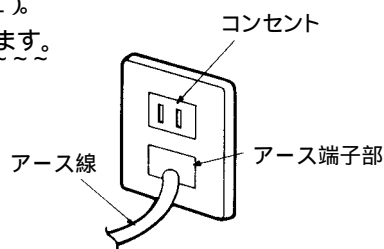
漏電の原因になり、危険であるばかりでなく、修理サービスができなくなります。

アース工事を必ず行ってください(D種接地工事)。

上記コンセントのアース端子に配線してください。

製品付属のアース線をアース端子に確実に接続してください。

**ご注意** アース線はガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。



電気工事は、必ず電気工事士の資格をお持ちの方に行っていただきますようお願いいたします。

#### 埋込みコンセント取付位置

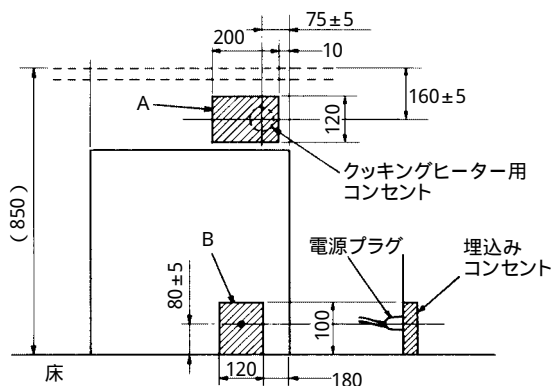
A 東芝クッキングヒーター ドロップインタイプ と組み合わせられる場合

斜線の範囲内に取り付けてください。

B その他の場合

斜線の範囲内に取り付けてください。

電源プラグの位置が床から $80 \pm 5$ mmの高さとなるようにしてください。



## 5 設置上の注意

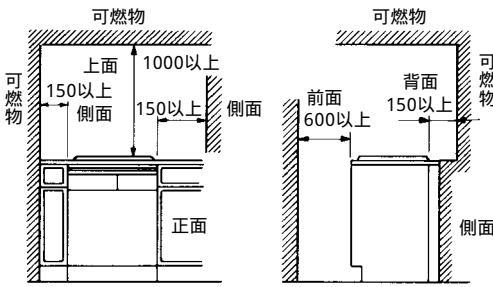
設置工事を始める前に確認してください。

器具の大きさ、重さに合った丈夫で水平な安定した場所に設置してください。

器具は火災予防上、可燃物(土壁・棚)との間を側面および背面15cm以上、上面1m以上離してください。また、器具の前面は60cm以上離してください。不燃壁の場合はその限りではありません。

周囲が可燃性の壁・たな等がある場合や、可燃性の壁にステンレス板等を貼り付けてご使用の場合は、下図に準じてください。

(単位: mm)



可燃性壁面との間隔が左図の通り離せない場合は、建築基準法に定める防火構造以上の性能を有する壁にしてください。(令第108条)

参考

建築基準法で定める防火構造壁の一例(木造建築の場合)

モルタル塗の上にタイルを張ったもので、その厚さの合計が2.5cm以上の壁

厚さが1.2cm以上の石膏ボード張の上にステンレス鋼板を張った壁

尚、上記防火構造がとれない場合、コンロの設置工事説明書により防火処理を行ってください。

本体の一部が家屋の壁中のワイヤラシに接触したり、金属製の防熱板とステンレス製ワークトップが接触するおそれのある場合は、絶縁テープなどで電氣的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。

器具設置の際に次のことをお守りください。

本体をタイルやモルタルで、塗り込まないようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。

湿気の少ないところに設置してください。

十分換気のできる場所に、設置してください。

器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など燃えやすいものは、置かないようにしてください。

ワークトップは、熱硬化樹脂化粧板(JIS・K・6903)または、これと同等以上の材料をお使いください。

ワークトップの表面が、ニス引きのものは、変色しますので、お使いにならないでください。

**ご注意**

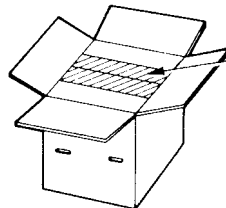
この機器を設置される台所が、建築基準法に定める[内装制限を受ける調理室]に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。

設置場所と周囲の可燃物、防火措置は、必ず火災予防条例に準じて施工してください。

## 6 設置方法(開梱、付属品の組付け、設置)

### 1. 開梱して設置用付属品を取り出す。

バンド(2本)をはずし、ダンボールの上部を開けてください。



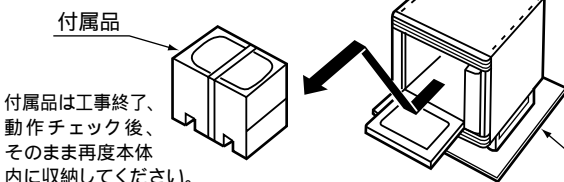
ダンボール内に下記部品が入っています。  
下飾りルーバー、ネジ(3)  
け込みカバー、ネジ(2)  
転倒防止金具A、B、ネジ(3)、ナット(3)  
木ネジ類(2種類 各3)

詳細は2ページを参照してください。

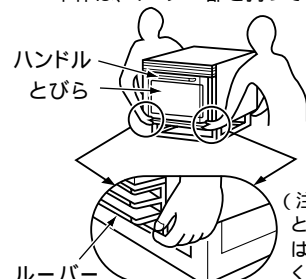
2人作業・手ぶくろ着用

本体は、コーナー部を持ってください。

### 2. 本体をダンボールから取り出し、ベニヤ板等の上に置いて、本体内から付属品を取り出します。



付属品は工事終了、動作チェック後、そのまま再度本体内に収納してください。



(注) とびらや、ルーバーは持たないでください。

裏面へ

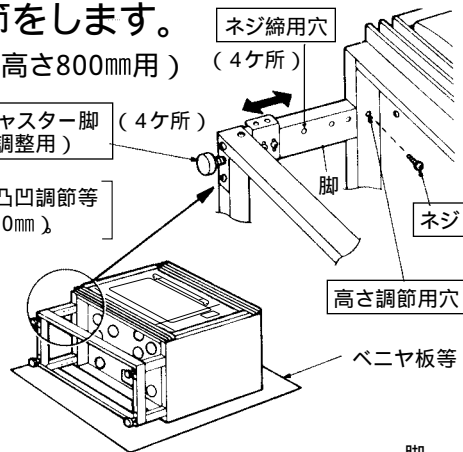
### 3. キッチンの高さに合わせて本体の高さ調節をします。

(製品出荷時は、高さが約575mmとなっています：キッチン高さ800mm用)

下図の様に背面側に静かに倒して、4ヶ所のネジを全て外して前後左右4ヶ所調節します。

床に傷をつけないように、必ずベニヤ板等を下に敷いて行なってください。  
電源コードに傷をつけないように注意して行なってください。

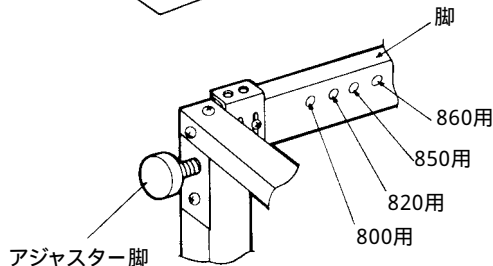
高さの微調整、床面の凸凹調節等に  
使用します(調整代10mm)



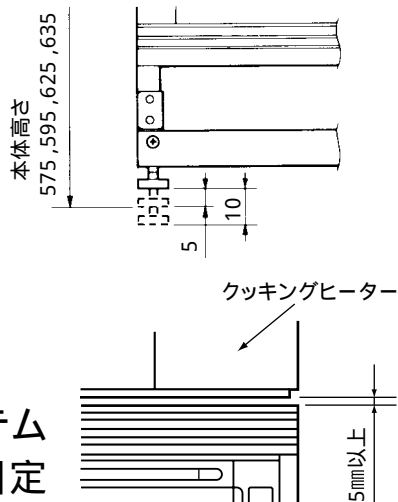
## 本体高さ調節方法〔詳細〕

脚にネジ締用穴が4ヶ所あいています。  
システムキッチンの高さに合わせてネジ止めしてください。

アジャスター脚により本体の高さの微調節をしてください。  
上下に各々5mmの調節ができます。  
床面の凹凸などによる脚のガタつきをなくします。



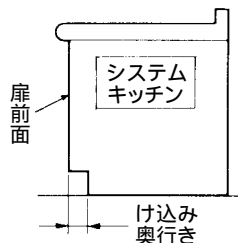
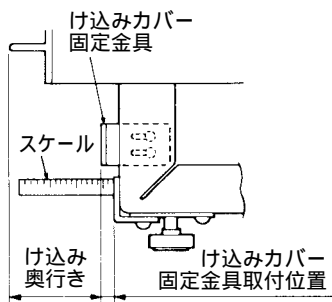
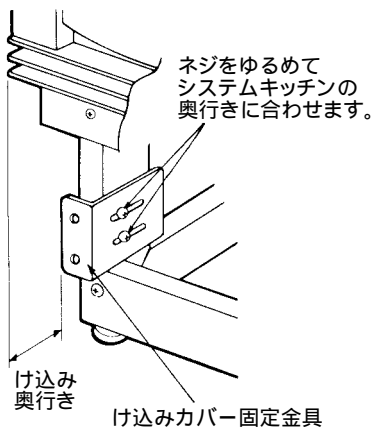
上部にクッキングヒータを組み合わせる場合は、必ず本体上面の隙間を5mm以上設けるように調整してください。  
システムキッチンと本体の高さ関係は、1、2又は6-9を参照してください。



### 4. 「け込みカバー固定金具」の前後方向をシステムキッチンのけ込み奥行きにあわせてネジ固定してください。

け込みカバー固定金具のネジをゆるめて、下図の方法でシステムキッチン奥行きに合わせて、ネジで固定してください。

右表を参照して、け込みカバー固定金具の取付位置を確認してください。



システムキッチン け込み奥行き	け込みカバー固定 金具取付位置
50mm	25mm
65mm	10mm

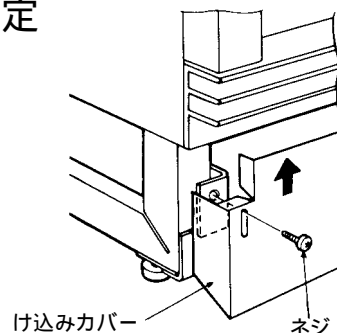
システムキッチンけ込み奥行きと、製品のけ込みカバー固定金具取付位置関係

## 5. 同梱の「け込みカバー」を脚部のけ込みカバー固定金具に取り付けます。

同梱のネジ2本を使用します。

け込みカバーが床面に当たらないように、上へ持ち上げて取り付けます。システムキッチンへ製品をセットした後に、床面まで下げるようにしてください。

最初から床面まで下げますと、セット時に床面を傷つけたり、け込みカバーが傷ついたりします。



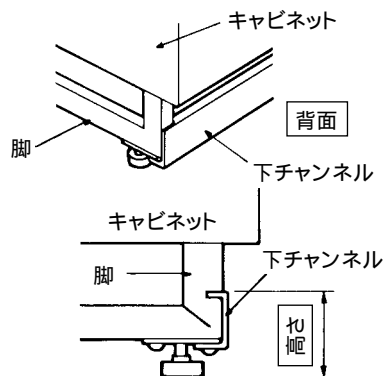
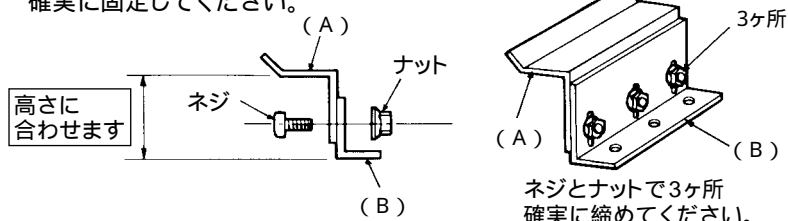
## 6. システムキッチンの扉前面部にあわせて、同梱の型紙ダンボールを用いて、転倒防止金具を床に固定します。

転倒防止金具(同梱の(A) X (B) 2種類)の高さを合わせます。

システムキッチンに製品高さを調節後行なってください。

下図のように、ネジとナットで仮止めしてください。

下チャンネルに転倒防止金具を当てて、高さをあわせてネジとナットで確実に固定してください。

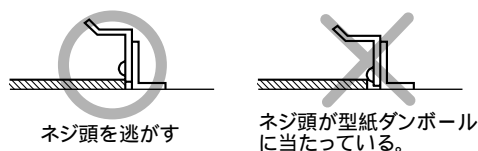


上記転倒防止金具を床面に取り付けます。

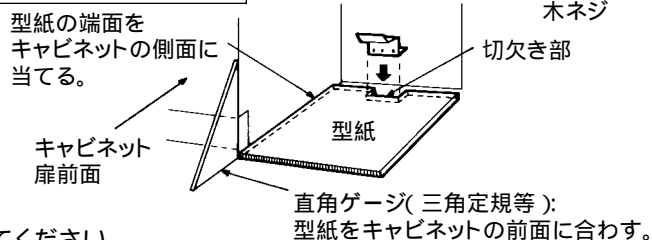
型紙ダンボール(梱包材料として使用されている本体上部のダンボール)を図の様に床面に敷きネジ頭を逃がし、切欠き部にあわせて転倒防止金具を置いて、同梱の木ネジ(3本)で取り付けてください。

床固定用の木ネジは一般用と、コンクリート用(青色)の2種類が入っています。床面の材質により、どちらかを使用してください。

型紙ダンボールへの当て方



取り付け後は、型紙ダンボールは必ず取り外してください。



直角ゲージ(三角定規等): 型紙をキャビネットの前面に合わせます。

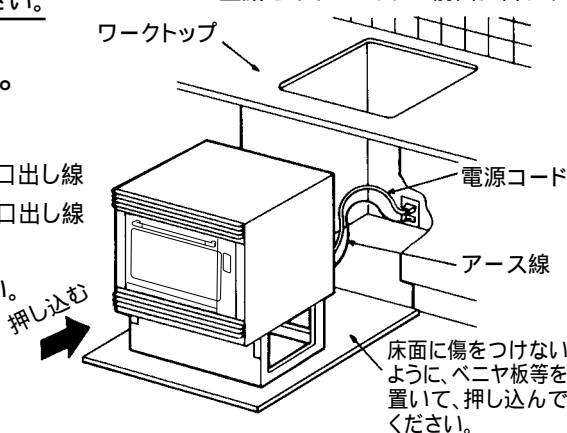
## 7. 本体をキッチンにセットしてください。

オーブグリルレンジの電源・アースの接続と設置

オーブグリルレンジの後面下部から電源コードとアース口出し線が出ていますので、コンセントにプラグを差し込み、アース口出し線を接続してください。

オーブグリルレンジを所定の位置に設置してください。

電源コード、アース線が本体でつぶれないように注意してください。

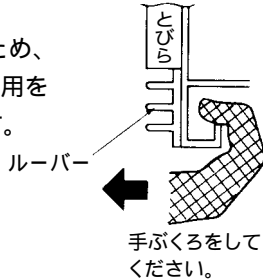


### 8. システムキッチンのけ込み奥行きに「け込みカバー」の位置が合っているか確認し、ネジ2本をゆるめて床面まで下げ、再度ネジで固定します。

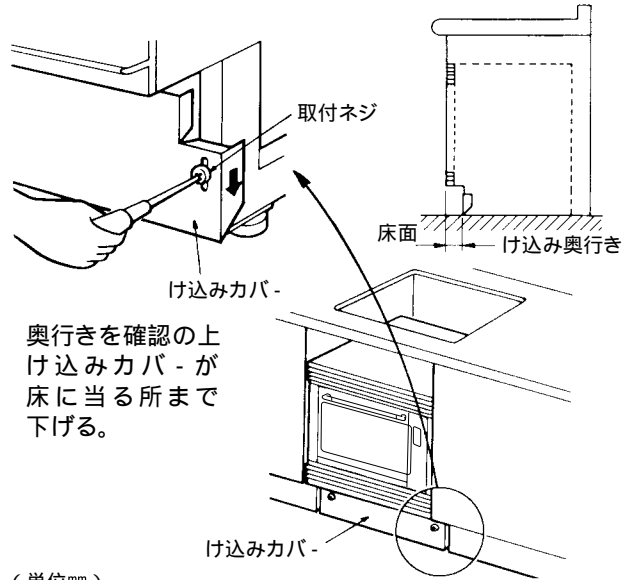
#### 本体を引き出す時のご注意

床面に必ずベニヤ板等をしてから本体下のルーバー奥に手をかけて引っ張り出してください。

けが防止のため、手ぶくろの着用をお願いします。



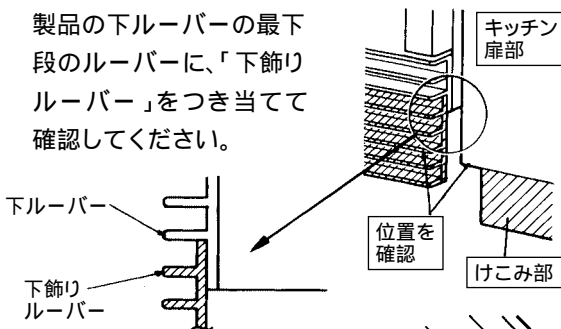
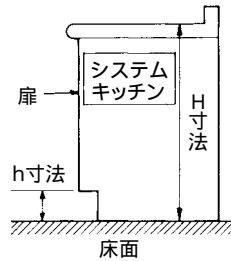
とびらをもって引っ張り出さないでください。故障の原因となります。



奥行きを確認の上け込みカバーが床に当る所まで下げる。

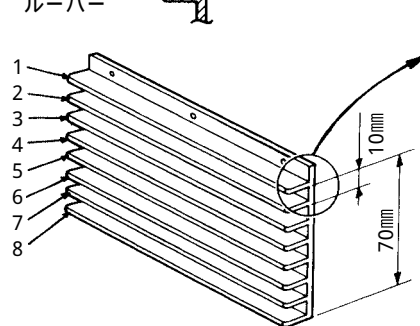
### 9. システムキッチンのけ込み高さにあわせて、同梱の「下飾りルーバー」を加工して取り付けます (10mmピッチ)

システムキッチンのけ込み高さhをはかります。高さにあわせて、右表を目安にして、「下飾りルーバー」をカッターナイフで切ってください。間違いをふせぐために、製品の下ルーバーの最下段のルーバーに、「下飾りルーバー」をつき当てて確認してください。

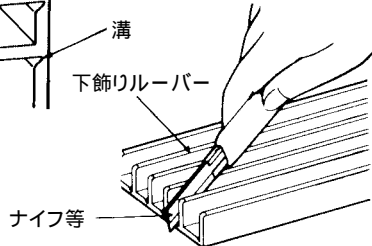


(単位mm)

システムキッチン高さ:H	製品高さ	け込み高さ h	下飾りルーバー
800	575	100	2段
		90	3
820	595	120	2
		110	3
		100	4
		90	5
		90	5
850	625	150	2
		140	3
		130	4
		120	5
		110	6
		100	7
		100	7
		90	8
860	635	160	2
		150	3
		140	4
		130	5
		120	6
		110	7
		110	7
		100	8



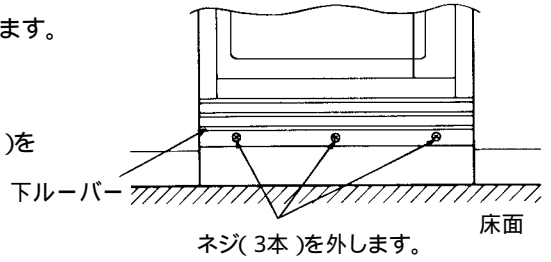
溝にあわせてカッターナイフ等で切ります。



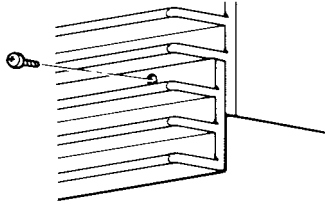
ベニヤ板等の平らな板の上のせて行い床面に傷をつけないように注意してください。

切り落とした端面をサンドペーパー等で滑らかに仕上げます。  
けがをしないように、バリ等をとります。

製品の下ルーバーを取り付けている最下段のネジ(3本)を外します。  
下ルーバーに傷を付けない様に注意してください。



高さを合わせた「下飾りルーバー」を製品本体に外したネジで取り付けます(ネジ3本は予備に同梱してあります)。



下ルーバーに対し、下飾りルーバーが傾いて付いていないか確認してください。

## 7 工事完了後の確認

設置終了後、次の手順で確認し、チェック欄に✓印をしてください。

確認事項		チェック
取りはずし 付・包装材の 付属品の取り	オープングリルレンジのとびら固定用テープ類の取りはずし。	
	け込みカバーの取り付けと位置調節。	
	け込み高さの調節(下飾りルーバーの取り付け)	
	転倒防止金具の取り付けと位置調節(本体を押しでも入り込まないか)	
電気工事	接地工事	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグ、アース線の接続	
電気試験及び動作確認	電源電圧が100Vであることを必ず確認してください。 専用ブレーカーをONする。 とびらを開ける。→ オープングリルレンジのパネル表示部が「1000」点滅又は「0」点灯する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">オープン庫内から同梱物等を出して行ってください。確認終了後再びオープン庫内へ戻しておいてください。</div>	
	取扱説明書を参照して動作確認を行ってください。 例えば次のような点を確認してください。 庫内に回転板、回転皿をのせてとりけしキーを押す。→ ビーピ...と鳴って0表示となる。 庫内にコップ半分程度の水を入れて30秒～1分間 → 水があたたまっているか。 レンジ強加熱をする(取扱説明書40ページ)	
保証書に必要事項を記入し、設置工事説明書とともにお客様にお渡しください。		
		工事完了 確認者印

株式会社 **東芝**

家電機器社 HAクリエーション部

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1(東芝ビルディング)